



「扶養親族等申告書」は期限までに提出を！

老齢もしくは退職を支給事由とする年金は、所得税法上「雑所得」として所得税がかかります。

翌年支払われる年金から所得税の各種控除を受けるためには、現在、日本年金機構から送付の「扶養親族等申告書」を提出していただき、年金にかかる所得税の計算を行いますので、早急に日本年金機構へ提出してください。

提出されなかった場合には、各種控除が受けられず、提出した場合と比べて多くの所得税が源泉徴収されますので、ご注意ください。

なお、次の方は課税の対象となりませんので、申告書の提出は必要ありません。

- ・ 支払年金額（年額）が108万円未満の方（65歳以上は158万円未満の方）
- ・ 障害年金・遺族年金を受けている方

「扶養親族等申告書」に関するQ & A

〈Q1〉 扶養親族等申告書を送付されてきましたが、扶養親族等がない場合も提出する必要がありますか？

〈A1〉 当該申告書が提出されないとご自身の基礎控除等を受けることができませんので、控除を受けるために提出してください。

〈Q2〉 申告書を提出した場合は、確定申告の必要はないのですか？

〈A2〉 次のような方は、扶養親族等申告書を提出した場合でも、税務署に確定申告が必要となります。

- ・ 年の途中で、扶養親族等の人数が増減するなどにより申告した扶養親族等申告書の内容に変更が生じた方（扶養親族等が年の途中で死亡された場合は、その年の扶養親族等として申告できます。）
- ・ 年金以外の収入（給与など）がある方
- ・ 他の公的年金を受給している方
- ・ 生命保険料控除、社会保険料控除、医療費控除などを受けようとする方

【お問い合わせ先】 役場住民生活課 ☎77-3613

